

2019年12月配信【第96号】

名銀「アジアビジネスクラブ」

アジアクラブ通信

— CONTENTS（第96号） —

○ トピックス

「渋滞からの脱却に向けて急ピッチで進むインフラ整備」

○ お知らせ

アジアクラブ通信は当月をもちまして、しばらく休刊をさせていただきます。

渋滞からの脱却に向けて 急ピッチで進むインフラ整備

インドネシアではジャカルタ都市高速鉄道（以下 MRT）とともに、首都圏の鉄道交通網の一翼を担う軽量軌道交通（以下 LRT）と高架高速道路の建設が急ピッチで進んでいます。MRT はジャカルタ市内を走るのに対して、LRT と高架高速道路はジャカルタと郊外を結びます。LRT 沿線及び高架高速道路と並行して、各所で車に依存しない公共交通指向型都市開発（TOD）も行われており、駅を中心とした新しい街づくりも一挙に進められています。

<軽量軌道交通（LRT）プロジェクト>

正式名称「Light Rail Transit」は北米が発祥の輸送力が軽量の都市旅客鉄道です。インドネシアでは、資金不足などが原因で2回も挫折したモノレール事業に代わるプロジェクトとして2015年から工事が開始され、現在2種のLRTプロジェクトが同時進行されています。



【LRT 路線図 出所：NNA】

① 赤：首都圏 LRT

- ・ジャカルタ、西ジャワ州ボゴール、ブカシ周辺都市を結ぶ政府プロジェクト。全3期で構成されています。
- ・東ジャカルタ・チャワンを起点に、西・東・南の3方向に総延長約42.1kmが建設される予定となっており、3ルートが全て開通すればジャカルタから最も近いMM2100工業団地近郊までを約40分で移動することが可能となります。

② 青：ジャカルタ LRT

- ・ジャカルタ北東部のプロジェクト。首都圏 LRT と同じく全 3 期で構成されています。当初は 2018 年 8 月のアジア大会に合わせた営業運転を予定していましたが、大幅に遅れていました。
- ・第 1 路線が 2019 年 12 月 1 日に開通しました。クラパガディン-ペロドロームを結ぶ 5 つの区間で全長は 5.8km です。

<第 2 ジャカルターチカンペック高速道路（一部区画）の開通>



【第 2 チカンペック高速道路 西ジャワ州カラワンの入口・出口】

既存のジャカルターチカンペック高速道路の上に建設される高架高速道路を「第 2 チカンペック高速道路」と呼んでいます。この高架高速道路は全長 83km に及ぶ計画で有り、遠方とジャカルタを結び、既存の高速道路と併用されることで交通の流れを上下に分散し、慢性的な交通渋滞の緩和を目指して 2017 年に建設工事が着工されました。当初は 2019 年 4 月に開通を予定していましたが大幅に遅れ、今般ようやくその一部区間（ジャカルタ郊外チクニルー-西ジャワ州カラワン迄の 36.4km）の工事が完了し、ジョコ・ウィドド大統領が 2019 年 12 月 12 日に現地で開通式典を行いました。本年度のクリスマスと年末年始の帰省シーズンに間に合い、その効果に期待が寄せられています。

<TOD 事業>

正式名称「Transit Oriented Development」は過度に自動車依存が進んだ都市開発から転換する為に、都市中心部の鉄道駅周辺に商業施設を重点的に配置すると同時に、郊外部における鉄道駅周辺に住宅地を計画的に創造する事業です。日系不動産会社も参入して住宅開発に取り組んでいます。



【 ジャカルタ市内 MRT Cipete Raya 近郊】

例えば、東急不動産やトヨタホームが連携して開発する「サクラ・リージェンシー3」は首都圏 LRT 東ブカシ駅から南へ 2km の位置に総戸数 467 戸の戸建てを建設し現在販売中です。

また、大和ハウス工業が開発する「サクラ・ガーデンシティ」は首都圏 LRT の新駅が建設されている地区（ジャカルタ中心部から南東約 24km のエリア）約 12 ヘクタールの敷地に高層分譲マンション 12 棟約 5,000 戸を建設予定です。その他、商業施設やホテルの開発も進めています。



【サクラ・リージェンシー3】

<最後に>

インドネシアでは当初の計画よりもだいぶ遅れながらではありますが、世界有数と言われている深刻な交通渋滞からの脱却に向けて日々変化しています。国全体が変化し発展を続けるこの国の勢いに思わず身震いする程です。平均年齢 28 歳、2 億 5 千万人を抱える大国の今後の動きから目が離せません。

名古屋銀行 法人営業部 インドネシア駐在
水野 大樹

【参考】

- ・ NNA カンパサール

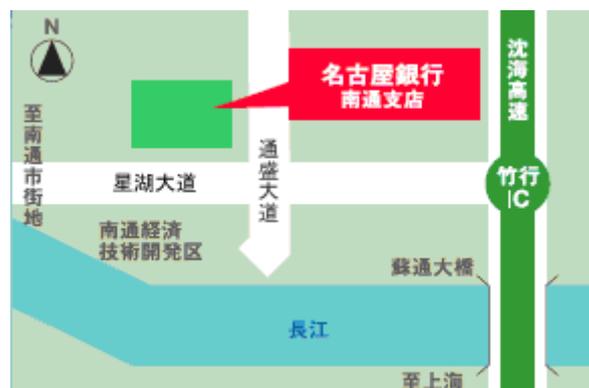
https://www.nna.jp/nnakanpasar/backnumber/180201/feature_001

- ・ 時事通信社 時事速報 (2019年12月2日)
- ・ 時事通信社 時事速報 (2019年12月16日)

名古屋銀行の中国拠点

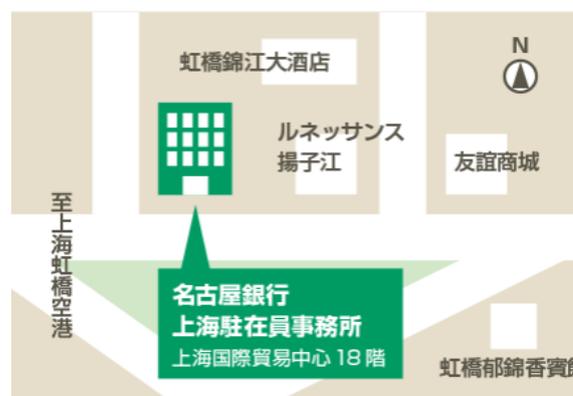
■ 南通支店

中国江蘇省南通市経済技術開発区
通盛大道 188 号 創業外包服務中心C楼
2F
TEL: <86>513-8919-2280
FAX: <86>513-8919-2281



■ 上海駐在員事務所

中国上海市長寧区延安西路 2201 号
上海国際貿易中心 1809 号室(18階)
TEL: <86>21-6275-4207
FAX: <86>21-6275-9461



<ご注意>

- 法律上、会計上の助言: 本誌記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。
- 法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。
- 秘密保持: 本誌記載の情報の貴社への開示は貴社の守秘義務を前提とするものです。当該情報については貴社内部の利用に限定され、その内容の第三者への開示は禁止されています。
- 免責: 本誌記載の情報は、弊行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊行は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらず一切責任を負いません。
- 著作権: 本誌記載の情報の著作権は原則として弊行に帰属します。いかなる目的であれ本誌の一部または全部について無断で、いかなる方法においても複製、複製。引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。

【事務局】 名古屋銀行 法人営業部 国際ビジネス推進グループ

TEL: 052-962-9522 FAX: 052-962-6043